

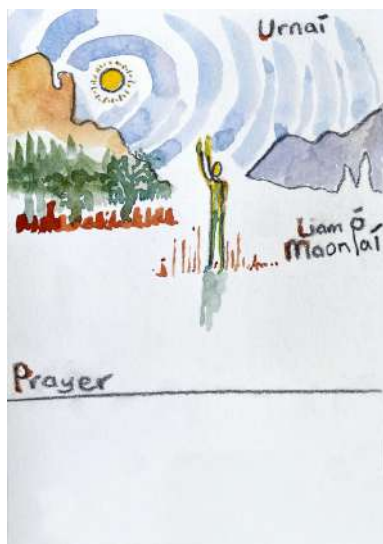
リアム・オ・メンリィ 個展 『Prayer』

■会 期	2025年11月28日（金）～2025年12月27日（土） ※臨時休廊：12/11（木）～13（土）
■開 廊	水曜日～土曜日 13:00～18:00（日・月・火・祝休廊）
■会 場	KANA KAWANISHI GALLERY 〒135-0021 東京都江東区白河4-7-6 白河和楽ビル1F
■主 催	カナカワニシアートオフィス合同会社
■後 援	駐日アイルランド大使館
■招 聘	株式会社プランクトン



▼オープニングレセプション

2025年11月28日（金）18:00～19:00
（アーティストも在廊いたします）



Prayer

2025 | watercolor and pencil on paper | 248 × 210 mm
© Liam Ó Maonlaí, courtesy KANA KAWANISHI GALLERY

KANA KAWANISHI GALLERYは、
2025年11月28日（金）よりリア
ム・オ・メンリィ 個展 『Prayer』を
開催いたします。

リアム・オ・メンリィは、1964年ア
イルランド・ダブリン生まれ。故郷
アイルランドをはじめ、マリ、エチ
オピア、ケニア、チベット、イン
ド、オーストラリア、スペイン、フ
ランス、そして日本など世界各地の
ミュージシャン、あるいはそこで暮
らす人々とも交流を広げ、各地の文
化を吸収しながら、風のように自由
に、音楽表現を続けるアーティスト
です。

同郷であるU2のボノことポール・デイヴィッド・ヒューソンから「世界一のホワイト・ソウ
ル・シンガー」と称され、フジロックフェスティバル（2025年、2019年、他多数）に度々出演し、ピ
アノ、ギター、バウロン（アイリッシュドラム）、アイリッシュハープを弾きこなすマルチプレイ
ヤーとしても知られるオ・メンリィが、初めて絵筆を執ったのはピアノと出会った頃、つまり幼
少期の原風景にまで遡ると語ります。

「絵の原風景でいうと、母が俳優業でいそがしいときに通っていた保育園の記憶、あと5歳くら
いのインファントスクール（小学校低学年）の記憶がある。他のことを学んでいるさなか、颯爽
と予告なく現れるある女性がいる、『犬はこう』『カウボーイはこんな感じ』『象はこうやって
描くの』と黒板にさっと描き上げては、いなくなるあの人は、誰だったんだろう…。そしてある
日、泳いでいる犬を描いた。水を描いた。手応えがあった。自分の表現だ、と思った。それから
ずっと、描いている。」

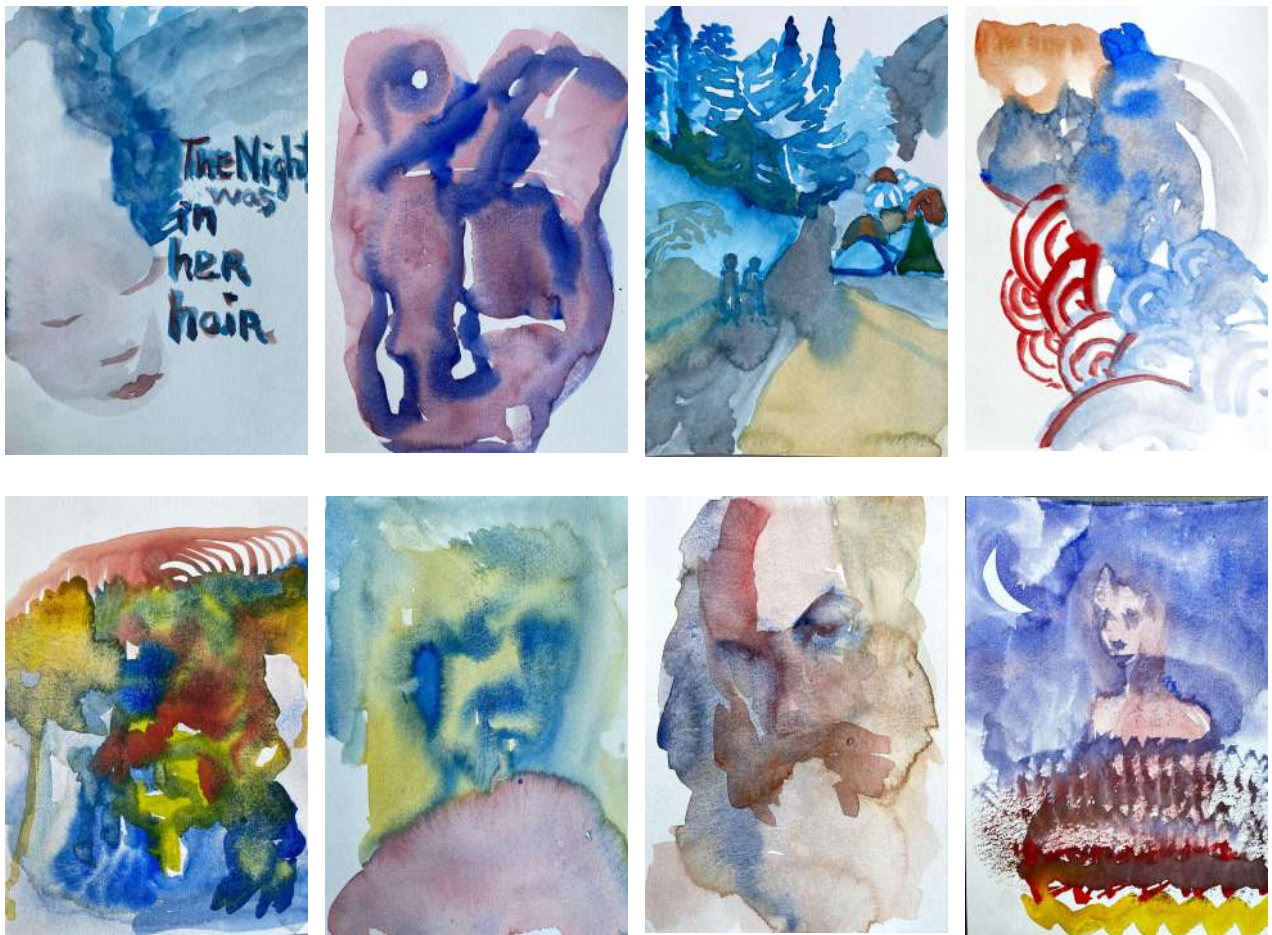
■ 画像データのご依頼等は下記までご連絡下さい ■

音楽表現の傍らには常に画材とスケッチブックを携え、音楽表現と並行し、絵画制作をつづけてきたオ・メンリィ。音楽表現においては、アイルランド人としてのアイデンティティを深く自覚し、祖先から受け継いできたルーツであるゲール語を大切に守りながら、世界各地の文化と呼応するように、魂を解放しながら、奏でてきました。

絵画制作においては、根源的な抽象世界から色彩をすくい取るかのようです。本展では、ダブリンのアトリエで何十年にも渡り描き続けてきた絵画作品に加え、2025年夏に来日時に描きおろしたセルフポートレートや、抽象的な風景画、心象風景を描いたような抽象画などで構成するとともに、ギャラリー内でも新作を滞在制作予定です。

「物心ついたときから描く楽しめとともに歩んできました。描くことは、私にとって大きな安らぎと喜びの源です。自分の作品を展示することはめったにありません。心のやすらぎと喜びを感じています。祈るような気持ちです。」

17年振りにリリースとなったソロアルバム「PRAYER/URNAÍ」と合わせ、コマーシャルギャラリーでの初個展となる本展『Prayer』を、是非お見逃しなくご高覧ください。



2025 | watercolor on paper | 210 × 148 mm
© Liam Ó Maonlaí, courtesy KANA KAWANISHI GALLERY

■ 画像データのご依頼等は下記までご連絡下さい ■

アーティストステートメント

何もかもあらゆることが祈りになるのです。

時間を超え、通か彼方の星から太陽、
そして地球とそれが宿しているすべてのもの、
それらの偉大なる神秘の衝動に向かって開かれた、
創造と共にある場所、
それがわたしにとっての祈りです。

祈りはダンスであり、歌であり、静寂です。

耳を傾けながら、
わたしは目の前にあるすべてのものと手を携えることで、
自分がやらなければならないことができると気づいています。
わたしたちは家族です。
愛とひたむきな心と共になされたあらゆることがわたしたちを繋ぎとめます。

エチオピア、西パプア、ケニア、マリ、クワーボ族、
パレスチナ、日本、モラヴィア、スペイン、
あらゆる人々、あらゆる場所には文化と物語があり、
古きもの、新たなものの手によって、
わたしたちの綴れ織りが日毎織りあげられています。

祈りながら歩く。
Nil teora le mo bliuochas
(私の感謝の気持ちに際限はありません)

リアム・オ・メンリィ

※アルバム「PRAYER/URNAÍ」ライナーノーツより抜粋

アーティストプロフィール

リアム・オ・メンリィ (Liam Ó Maonlaí)

1964年、アイルランド・ダブリン生まれ。アイルランドを代表するカリスマ・シンガーのひとり。1988年にHothouse Flowersのリードヴォーカル、ピアノ、ギター、作詞作曲担当としてメジャーデビュー。1994年から1998年迄の休止期間を経て、バンド活動と並行してソロでも活動。マリ、インド、チベット、中国、日本、スペイン、オーストラリア（アボリジニ）、アメリカ（ネイティブ・アメリカン）の音楽家とも交流し、2008年にはドキュメンタリー映画『Dambé: The Mali Project』に出演。現地の音楽家と交流しながら西アフリカ・マリ共和国「Festival au désert（砂漠の音楽祭）」に出演した様子を収録。これまでに9枚のバンドアルバム、2枚のソロアルバムをリリース。最新アルバム『PRAYER/URNAÍ』（プランクトン・レーベル）は、6年間かけて日本で録音・制作された17年ぶりのソロアルバムとして2025年10月末にリリースされた。